

令和元年度 まちづくり勉強会のご案内

(公社)愛知建築士会
地域まちづくり部会長 葛山稔晃

古民家活用における金融機関の取り組み —美濃和紙文化が創り出す観光活性化と古民家の活用—

岐阜県美濃市が保有する築 100 年を超える古民家がホテルに生まれ変わりました。この建物は紙問屋だった「旧松久才治郎邸」で、観光客に人気の古い町並みにあり、2016 年に市に寄付されていました。約 2400 平方メートルの敷地に建つ木造 2 階建ての居宅や蔵 4 棟(総延べ床面積 1300 平方メートル)の内部を、26 人が泊まれる 6 室のホテルに改修し、今年の 7 月に外国人観光客やシニア層を呼び込む狙いで、開業されました。今回は、株式会社日本政策投資銀行東海支店:副調査役の山口皓太氏から、古民家を活用する上での金融機関の視点と美濃市の事例を中心とした近年の古民家活用事例のお話をして頂きます。

日 時: 10 月 21 日(月) 15 時 30 分受付開始

会 場:(公社)愛知建築士会 第1、2会議室 (名古屋市中区栄2丁目10番19号 名古屋商工会議所ビル9階)

定 員:30名(先着順)

参 加 費 :会員無料・一般:500円

申 込 先 :E-mail: katsu@taiwa-k.jp 迄、事前に参加申込をお願い致します

タイムスケジュール

15:30 愛知建築士会 第1、2会議室にて受付開始

16:00 講師:株式会社日本政策投資銀行東海支店:副調査役の山口皓太氏による勉強会+質疑応答

17:00 終了



美濃市の古民家ホテル